平成30年度募集要項



平成30(2018)年9月開講

お問い合わせ (公財)ひょうご震災記念21

TEL.078·262·5713 FAX.078·262·5122 Webで確認 ひょうご講座 検皮 http://www.hyogo-al.jp/kouza/



ひょうご講座2018とは

目 的

21世紀文明を切り拓く高度な研究成果や専門的知識を得たいという県民の学習ニーズに応えるため、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構のネットワークを活用し、テーマ性を明確にした大学教養レベルの連続講座を開講する。

分 野

防災・復興/災害多発時代におけるリスクに正しく備える

地球環境/兵庫の豊かな自然環境を育む

地域創生/未来を見据えた地域づくり

国際理解/混迷する世界を読む

政治・経済/人口減少時代の国家・社会像を探る



防災·復興 災害多発時代におけるリスクに正しく備える

日本列島は災害多発時代を迎えたとも災害が常態化したとも言われます。今後30年 以内の発生確率が70~80%程度とされる南海トラフ地震をはじめ、スーパー台風やカ ルデラ噴火など、巨大災害の発生も懸念されています。こうしたなか、様々な災害のリス クを正しく理解し、被害の最小化や早期の復旧・復興につなげるためにいかに取り組む べきか、安全安心な減災社会の実現に向けた方策について学びます。



開催日	テーマ			担当教員
1 9/25 %	兵庫県を襲った地震:古代~近代	中西	一郎	京都大学大学院理学研究科教授
2 10/ 2®	近年の豪雨の特徴と災害から命を守る	沖村	孝	(一財)建設工学研究所代表理事
3 10/ 9 🕸	未来の巨大災害をイメージし、その危機に備える	紅谷	昇平	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授
4 10/16 (火山大国に暮らす覚悟	巽	好幸	神戸大学海洋底探査センター教授・センター長
6 10/23 (%)	災害情報と防災行動	近藤	誠司	関西大学社会安全学部准教授
6 10/30 ®	ICT時代の災害対策	仲谷	善雄	立命館大学情報理工学部教授
7 11/12 9	地域を拠点とした共助による住宅減災復興	近藤	民代	神戸大学大学院工学研究科准教授
8 11/19 9	企業防災の課題と対策:官民連携BCM(事業継続マネージメント)	渡辺	研司	名古屋工業大学社会工学専攻教授
9 11/26	災害教訓の語り継ぎと防災教育	舩木	伸江	神戸学院大学現代社会学部准教授
1 1/28®	地域コミュニティの防災力	渥美	公秀	大阪大学大学院人間科学研究科教授

地球環境 兵庫の豊かな自然環境を育む

兵庫は、日本海から太平洋に至る広大な県土、変化に富んだ地形や気候など、自然環境に恵まれています。地球温暖化が懸念されるなか、豊かな環境をいかに守り育て、次代に引き継いでいくかということが問われています。こうした観点から、兵庫の環境を今一度見つめ直し、私たちは、今、何をなすべきかを学びます。



開	催日	テーマ			担当教員
1 9/	12®	待ったなしの地球温暖化対策	鈴木	胖	(公財) 地球環境戦略研究機関関西研究 センター所長
2 9/	19%	都市環境と緑	山田	宏之	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
3 9/:	26 ®	動物生態学の理論に基づくコウノトリの野生復帰の進展	江崎	保男	兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント 研究科教授・研究科長
4 10/	3 %	里山の保全	服部	保	兵庫県立南但馬自然学校校長
5 10/	10®	地球温暖化と森林生態系	石井	弘明	神戸大学大学院農学研究科准教授
6 10/	17®	森林生態系の保全と復元	石井	弘明	神戸大学大学院農学研究科准教授
7 10/	24 ®	生物多様性の危機	角野	康郎	神戸大学名誉教授
8 10/3	31 🕸	増え続ける野生動物の管理の最前線	横山	真弓	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授 兵庫県森林動物研究センター研究部長
9 11/	7 🕸	海を越える大気汚染と国内大気汚染をとらえる一その影響と対策一	藍川	昌秀	北九州市立大学国際環境工学部教授
1 1/	14%	海辺の楽しみ:美しく豊かになった大阪湾	藤原	建紀	京都大学名誉教授

地域創生 未来を見据えた地域づくり

少子高齢化の進展や人口減少、東京一極集中の是正などの構造的な課題に対応し、将来にわたり持続可能な魅力ある地域社会を構築するため「地域創生」の取り組みが進められています。

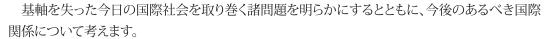
未来を担う子どもや若者から高齢者まで全ての人が、それぞれの居住地域で生涯にわたり豊かな暮らしをおくるには、何が求められるのか。未来を拓く産業の力を高め、持続可能な自立した地域を創りあげるには、何が必要なのか。これからの活力ある地域づくりのあり方について、実践事例も交えながら学びます。



開催日	テーマ			担当教員
1 9/10 	持続可能社会と地域創成	内藤	正明	吉備国際大学農学部参与 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター所長
2 9/21 (地域連携で起こす!地域プロジェクトはじめの一歩!	内平	隆之	兵庫県立大学地域創造機構教授
3 10/1	地域から考えるしあわせな人口減少社会デザイン	佐野	淳也	同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授
4 10/15	地域ブランドによるまちづくり	濱田	恵三	流通科学大学人間社会学部教授
5 10/22 	オールドニュータウンの再生	和田真	理子	兵庫県立大学政策科学研究所准教授
6 10/29	農村における人材としごとづくり	中塚	雅也	神戸大学大学院農学研究科准教授
7 11/59	観光立国と地域の活性化一われわれは観光にどう向き合うか一	森重	昌之	阪南大学国際観光学部教授
8 11/13 %	ローカル企業、地域事業者の戦い方ーふるさと納税返礼品提供事業者からの示唆ー	保田	隆明	神戸大学大学院経営学研究科准教授
911/20®	ローカルで光を放つ一地域経済の活性化策一	中村	智彦	神戸国際大学経済学部教授
1 11/27 (%)	歴史文化資産の保全・活用と観光まちづくりの潮流	永瀬	節治	和歌山大学観光学部准教授

国際理解 混迷する世界を読む

今年も世界情勢は混迷の度を深めています。超大国の米国は自国第一主義を一段と鮮明にしており、盟主なき世界は求心力を失ったままです。政治的軍事的に台頭する中国の勢いは、国際社会とりわけ近隣諸国に期待とともに摩擦や緊張関係を生み出しています。人々の不安につけ込むポピュリズムの波は勢いを増し、欧州では極右政党が台頭しEUへの不信感が高まっているほか、移民・難民問題や英国の離脱など混迷を深めています。





	開催日	テーマ			担当教員
	9/6+	民主主義とポピュリズム	薬師院	完仁志	帝塚山学院大学リベラルアーツ学部教授
6	9/13⊕	トランプ政権と国際社会	井口	治夫	関西学院大学国際学部教授
•	9/27 ⊕	分裂の進むアメリカ合衆国一価値観の対立の行方一	井上	弘貴	神戸大学大学院国際文化学研究科准教授
4	10/4	台頭する中国と国際秩序	谷川	真一	神戸大学大学院国際文化学研究科教授
•	10/19 🎕	文在寅政権の外交政策と朝鮮半島情勢	木村	幹	神戸大学大学院国際協力研究科教授
(10/25 (**)	巨大新興市場インドの課題ーインフラ問題から考えるー	福味	敦	兵庫県立大学経済学部准教授
	11/ 1 🕾	中国経済の現状と課題	萩原	弘子	兵庫県立大学経済学部教授
(8	11/8	岐路に立つEU	安井	宏樹	神戸大学大学院法学研究科教授
(11/16 🎕	東アジア情勢とロシア	河原地	也英武	京都産業大学外国部学部教授
1	011/29⊕	混迷を深める中東情勢を探る	中川	恵	羽衣国際大学現代社会学部教授

政治・経済 人口減少時代の国家・社会像を探る

戦後、我が国はめざましい成長を遂げましたが、急速に進む人口減少と超高齢化という課題に直面しています。少子高齢化は財政・社会保障の持続性を揺るがすだけでなく、日本の経済・社会システムに大きな変化をもたらします。また、第4次産業革命とも呼ばれる新しい技術革新が、消費や働き方など私たちの暮らしに大きな変化を引き起こしつつあります。

大きな構造変化を前に、これまでの発想を転換し、新たな商品やサービスの開発など我が国の強みを 活かすとともに、誰もが活躍できる社会づくりなど活力ある未来を構築することが強く求められています。 持続可能な社会に向け、これからの国家戦略や経済財政運営について考えます。



開催日	テーマ			担当教員
1 9/ 7 a	戦後日本政治の軌跡	森本	哲郎	関西大学法学部教授
2 9/14 (少子化と高齢化の進む中での雇用と社会保障	木下	秀雄	龍谷大学法学部教授
3 9/28 (将来負担の増大と持続可能な財政運営	湯之」	英雄	兵庫県立大学経済学部准教授
4 10/ 5 (第4次産業革命とものづくり	山下約	少矢佳	神戸山手大学現代社会学部専任講師
5 10/12 (中小ものづくり企業の生き残り戦略	藤川	健	兵庫県立大学経営学部准教授
6 10/18 ★	景気回復の実相:消費から見る景気回復	稲田	義久	甲南大学経済学部教授
7 10/26 3	地域の雇用と人口知能	濱口	伸明	神戸大学経済経営研究所教授
8 11/ 2 (日本の通商戦略	中西	訓嗣	神戸大学大学院経済学研究科教授
911/9\$	選挙制度改革を考える	砂原	庸介	神戸大学大学院法学研究科教授
1 1/22	代議制民主主義と政党政治のゆくえ	待鳥	聡史	京都大学大学院法学研究科教授

ひょうご講座2018講義カレンダー

〈凡例〉

 防災:
 防災:
 復興分野
 国際:
 国際理解分野

 環境:
 地球環境分野
 政経:
 政治・経済分野

 地域:
 地域創生分野
 ①
 :
 回数

						_
9	月	防災	環境	地域	国際	政経
9 6 7 8 9 10	木				1	
7	金					1
8	木 金 土 日 月					
9	日					
10	月			1		
11	火					
12	水		1			
11 12 13	木				2	
14	金					2
15	土					
16	火水木金土日月火水木金土日月					
17	月					
18	火					
19	水		2			
20	木					
21	金			2		
22	土					
23	日					
24	月					
25	火	1				
26	水		3			
27	木				3	
15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	火水木金土					3
29	土					
30	日					

10		防災	環境	地域	国際	政経
1	月			3		
2	火	2				
3	水		4			
4	水木金土日月				4	
5	金					4
6	土					
7	日					
8	月					
9	火	3				
10	火水木金土日月		5			
11	木					
12	金					(5)
13	土					
14	日					
15	月			4		
16	火	4				
17	水		6			
18	木					6
19	金				(5)	
20	火水木金土日					
21	日					
22	月			5		
23	火	5				
24	火水		7			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	木金土日月				6	
26	金					7
27	土					
28	日					
29	月			6		
30	火	6				
31	水		8			

	_	B ///		1.1.1.1.1	- nu	71.47
11	月	防災	環境	地域	国際	政経
1	木金				7	
2	金					8
3_	土					
4	土日月					
_ 5	月			7		
1 2 3 4 5 6 7	火					
7	水		9			
8	木				8	
9	金土					9
10	土					
11	日					
12	月	7				
13	火水			8		
14	水		10			
15	木					
16	木金土日				9	
17	土					
18	日					
19	月	8				
20	火			9		
21	水					
22	木					10
23	金					_
24	火水木金土					
25	日					
26	月	9				
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	火			10		
28	火水	10				
29	木				10	
30	木金					

お申し込み手続きについて

「ひょうご講座2018」をお申し込みの際は、以下をよくお読みになったうえで、お申し込みください。

申込方法

〈FAX·郵送による申込の場合〉

ご希望の分野を選択し、裏面の「受講申込書」に必要事項を記載してください。

FAX 078-262-5122

郵送先 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6階 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター 交流推進課 ひょうご講座担当

〈インターネットによる申込の場合〉

下記ホームページから、24時間いつでもお申し込みが可能です。

ひょうご講座URL http://www.hyogo-al.jp/kouza/

締め切り

■ 締切日:8月29日(水) 必着

■ 先着順で受け付け、定員になりしだい締め切ります。

受講料のお支払いについて

- 申込み受付後、「受講決定書」とともにお送りする郵便局の「払込取扱票」で、期日までに受講料をお支払いください。現金持参によるお支払いはできませんのでご注意ください。
- 受講料は前払いしていただきます。ご入金後にご連絡は原則いたしません。
- 受講料振込後にキャンセルされる場合は、お申込締め切り日である8月29日(水)までに限り、ご指定の講座に受講料を返金いたします(以降のキャンセルについては、返金できませんのでご了承ください)。なお、金融機関所定の振込手数料は、受講者の負担とさせていただきます。
- 入金をもって、正式なお申し込みとなります。入金確認後「受講者証」を発送いたします。 受講当日は、この「受講者証」をお持ちください。

その他

- 都合により、担当教員・テーマ等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承願います。
- 台風等により休講となる場合があります。その場合は、代替日を設けます。休講の場合は、ひょうご講座ホームページに掲載するほか、FAX またはE-mail により、ご連絡します。

お問い合わせ先

TEL:078-262-5713 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター 交流推進課月曜日~金曜日の9時~12時、13時~17時30分(国民の祝日・国民の休日を除く)

ひょうご講座2018 受講申込書

【FAX 送信先: 078-262-5122】

□その他〔

	ID/L	, 010 202 3122]						
ふりがた	Ĭ.			性 別	年齢(いずれかを○で囲んでください)			
氏 名	3		男・女	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 以上				
連絡先	Ē	〒 −			□ ご自宅 □ 勤務先			
電話	5		FAX					
E-mai	②E-mail□ 急な連絡は、Eメールのみで良い(休講等急を要する際の連絡は、Eメールのみで良い場合は☑をお願いします。)							
		ぎりとご記入ください。 に ☑を入れてください。						
申 込			分 野 名					
	防	災・復興分野 - 災害多発時代におり	けるリスクに正	Eしく備え	3			
	地	球環境分野ー兵庫の豊かな自然	を育む 					
	地	域 創 生 分 野 ー 未来を見据えた地域	域づくり					
	国	際理解分野ー混迷する世界を読む	む					
	政	台・経済分野 - 人口減少時代の国	家・社会像を探	る				
ご参考まで	に以「	下の項目にご回答下さい (該当する巧	頁目に☑を入れて	下さい。)				
職業	Ĕ	□ 会社員□ 公務員□ 対員□ 学生□ 自営業·自由業□						
受講経賜	受講経験□ 以前に、ひょうご講座を受講したことがある□ 以前に、21世紀文明研究セミナーを受講したことがある							
この募集	集要項	ほは、どこで入手されましたか?						
□ 県·ī □ 生涯 □ 友人	市町の 学習 の紹	らのダイレクトメール D施設 (施設 (いなみの学園など) (介 イベントで ()			

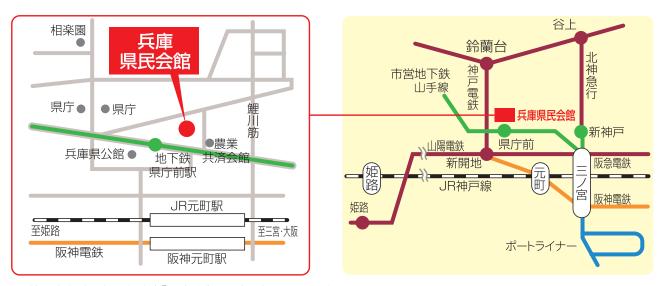
ご協力ありがとうございました。

)

開催場所

兵庫県民会館

兵庫県神戸市中央区下山手通4-16-3 TEL.078-321-2131



- 神戸市営地下鉄 山手線「県庁前」駅下車 東出口1から右へ50m
- JR·阪神「元町」駅下車 北へ徒歩約7分

お申し込み・お問い合わせ先

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター 交流推進課 ひょうご講座担当

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター東館6階

TEL: 078-262-5713 FAX: 078-262-5122

E-mail: kouza@hyogo-al.jp

Webで確認 ひょうご講座



検索 http://www.hyogo-al.jp/kouza/